

令和6年度 高鍋町 予防接種のしおり

予防接種は、ウイルスや細菌によって引き起こされる病気(感染症)を予防するために、ワクチンを接種することで病気に対する抵抗力(免疫)をつけるものです。麻疹や百日せきなど、かつて多くの幼い命を奪ってきた恐ろしい病気から子どもたちが守られているのは、予防接種の普及によるものです。予防接種には、予防接種法によって対象疾病、対象者及び接種期間などが定められた**定期接種**と、それ以外の**任意接種**があります。

【定期接種】 予防接種法に基づき接種が勧められています。必要性や副反応について十分に理解した上で接種を進めていきましょう。
公費負担のため、接種費用は無料です。

予防接種名	ワクチン種類	対象年齢 (接種が望ましい時期)	接種方法
ロタウイルス	1価	生後6~24週まで	4週間以上の間隔で2回
	5価	生後6~32週まで	4週間以上の間隔で3回
B型肝炎	●	生後2か月~1歳未満 (生後2~8か月)	27日以上の間隔をおいて2回 さらに1回目の接種から139日以上の間隔(20週経過後)をおいて1回 (計3回)
小児用肺炎球菌	●	生後2か月~5歳未満	・開始時期が生後2~6か月の場合 初回: 27日以上の間隔で3回 追加: 初回終了後、60日以上の間隔をあけて1回(1歳以降)
		初回接種開始時期: 生後2か月~6か月 追加: 1歳~1歳2か月	・開始時期が生後7~11か月の場合: 初回2回、 1歳以降に初回の2回目から60日以上経過後、追加1回 ・開始時期が1歳~2歳未満の場合: 60日以上の間隔をあけて2回 ・開始時期が2歳~5歳未満の場合: 1回のみ
ヒブ (インフルエンザ菌b型)	●	生後2か月~5歳未満	・開始時期が生後2~6か月の場合 初回: 27日(医師が認める場合は20日)~56日までの間隔で3回 追加: 初回終了後、7~13月までの間隔で1回
		初回接種開始時期: 生後2か月~6か月 追加: 初回終了後、7~13月までの間隔をおく	・開始時期が生後7~11か月の場合: 初回2回、追加1回 ・開始時期が1歳~5歳未満の場合: 1回のみ
4種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ) または 5種混合(4種混合+ヒブ)	●	1期 生後2か月~7歳6か月未満 初回: 生後2~11か月 追加: 初回終了後12~18か月後	1期 初回: 20日~56日(3~8週間)の間隔で3回 追加: 初回終了後、おおむね1年後に1回
BCG(結核)	◆	1歳未満 (生後5~8か月)	1回
麻疹(はしか)・風しん混合(MR)	◆	1期 1歳~2歳未満	1回 ※1歳になったらできるだけ早く受けましょう。
		2期 5歳以上7歳未満(小学校入学前の1年間)	1回
水痘(水ぼうそう)	◆	1歳~3歳未満 (水ぼうそうにかかったことがある方は対象外)	3か月以上の間隔をおいて2回 (2回目は1回目接種後6月から12月まで経過した時期)
日本脳炎 ※①	●	1期 生後6か月~7歳6か月未満 (初回:3歳 追加:4歳)	1期 初回: 6日~28日(1~4週間)の間隔で2回 追加: 初回終了後、6月以上おおむね1年の間隔をおいて1回
		2期 9歳~13歳未満(9歳)	2期 1回
ヒトパピローマウイルス (HPV)感染症 (子宮頸がん予防ワクチン)	●	小学校6年生~高校1年生相当の女子 (中学1年生の間)	2価 3回(1回目を接種して1または2か月後に2回目、1回目から6か月後に3回目を接種) ※ワクチンにより2回目の間隔が異なります。
		キャッチアップ対象: 平成9年度~平成19年度生まれの女子 ※②	9価 2回または3回(1回目接種が15歳未満の場合:2回接種 1回目接種が15歳以上の場合:3回接種)

※令和6年度以降、初めて接種する方は、主に5種混合に含まれます

ワクチン種類
◆生ワクチン…生きた細菌やウイルスの毒性(病原性)を弱めたもの
●不活化ワクチン…細菌やウイルスを殺し抵抗力(免疫)をつくるのに必要な成分を使って毒性(病原性)をなくしてつくったもの

【任意接種】 定期接種以外の予防接種で、重症化予防を目的として本人又は保護者の希望により接種するものです。高鍋町では、下記の予防接種費用に対して一部助成があります。

予防接種名	ワクチン種類	対象年齢	回数	助成金額
おたふくかぜ (流行性耳下腺炎)	◆	1~2歳未満	1回	3,000円
		年長児 (小学校入学前の1年間)	1回	3,000円
※かかったことがある方は対象外				
3種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風)	●	年長児 (小学校入学前の1年間) ※4種混合の第1期追加接種から6か月以上あける	1回	2,500円
季節性インフルエンザ (10月~2月) ※③	●	生後6か月~中学生	1回	1,500円

※①日本脳炎の特例措置…
平成7年4月2日~平成19年4月1日に生まれ第1期、第2期の接種を受けられなかった人は、20歳未満であれば、定期接種として接種可能。

※②ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンのキャッチアップ接種…
平成9年度~平成19年度生まれの女子は、令和6年度末(令和7年3月)まで定期接種(無料)として受けることができます。3回目までを無料で完了させるためには、**令和6年9月までに1回目の接種を開始する必要があります**。

※③季節性インフルエンザ実施医療機関等詳細…
令和6年9月頃にお知らせしたかなべや町ホームページ等でお知らせします。



予防接種ができる医療機関は、裏面の「高鍋町内予防接種実施医療機関一覧」をご覧ください。
◆全て個別接種
◆必ず実施医療機関に事前に要予約

裏面へ

※全て事前予約が必要です

予防接種についてのお問合せ・ご相談
 イワケン健康づくりセンター(高鍋町健康づくりセンター)
 TEL:0983-23-2323 FAX:0983-23-2344

医療機関名 TEL	接種曜日・時間	定期接種							任意接種	
		ロタウイルス	B型肝炎、4種(2種)混合、MR(麻しん風しん)、水痘、日本脳炎	5種混合	Hib(ヒブ)	小児用肺炎球菌	BCG	ヒトパピローマウイルス(HPV)	おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)	3種混合
たかやま小児科 0983-23-4423	月・火・水・金・土 14:00~15:00 ※診療時間内は対応可	○	○	○	○	○	○	○	○	○
おりたこどもクリニック 0983-32-5522	月・火・木・金 13:30~14:30 水・土 12:00~13:00 ※診療時間内は対応可	○	○	○	○	○	○	○	○	○
永友慶子小児科 0983-23-1082	月・火・水・金 9:30~11:30、14:00~17:30 木・土 9:30~11:30	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大森内科医院 0983-22-0055	月・火・木・金 8:30~12:00、14:00~17:30 水・土 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	○	○	×
永友胃腸科内科医院 0983-22-3320	月・火・木・金 9:00~11:30、14:00~17:30 水・土 9:00~11:30	×	○	×	○ ※4回目のみ	○ ※4回目のみ	×	×	○	○
坂田病院 0983-22-3426	月・火・木・金 8:30~11:30、13:30~17:30 水・土 8:30~11:30 ※3日前までに要予約	×	×	×	×	×	×	○	×	×
河野産科婦人科医院 0983-22-0341	月・火・木・金 9:00~12:00、14:00~17:00 水・土 9:00~12:00 ※3日前までに要予約	×	×	×	×	×	×	○	×	×

◆町外で定期接種を受ける場合
 宮崎県医師会に加入している医療機関であれば、町内の予防接種実施医療機関と同様に無料で接種することができます。希望する場合は、イワケン健康づくりセンターで発行した予診票を事前に受け取って、医療機関にご持参ください。

◆県外で定期接種を受ける場合
 里帰りやその他の事情等により、県外で定期接種を受ける場合は、予防接種費用の全額を個人でお支払いいただき、後日、予防接種に要した費用(上限有り)をお振込みいたします。→償還払と言います。
 償還払を受けるためには、申請が必要となりますので、予防接種を受ける前に必ずイワケン健康づくりセンターにご相談ください。



予防接種を
受ける前に

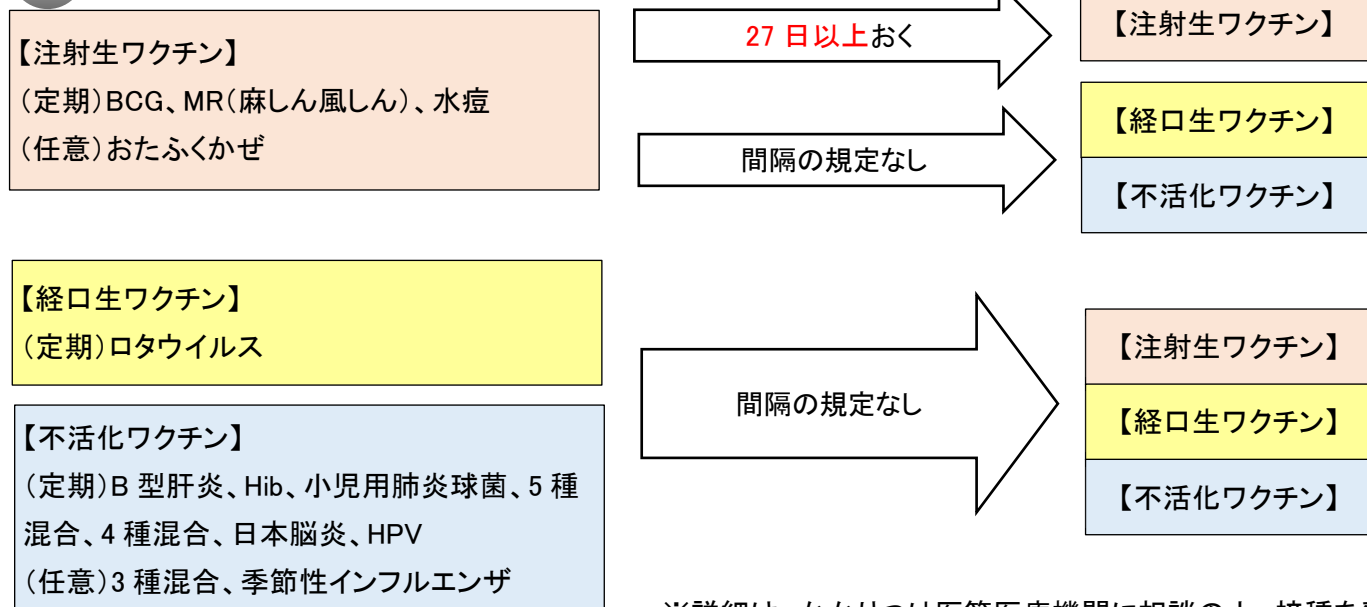
- 対象者:高鍋町在住の各予防接種の対象年齢の子ども(児童生徒)
対象年齢を1日でも過ぎたり、満たさない場合は対象外です。
- 必ず実施医療機関に予約しましょう。(電話で可)
- 接種予定の予防接種についての必要性や副反応をよく理解しておきましょう。
必ず、赤ちゃん訪問時にお渡しした冊子『予防接種と子どもの健康』を読んでから接種するようにしてください。→冊子を持っていない方は、イワケン健康づくりセンターでお渡しします。
- 母子健康手帳を必ず持っていきましょう。
- 接種する子どもの日ごろの状態をよく知っている保護者の方が連れていきましょう。
 ※やむを得ない理由により保護者が同伴できない場合
 接種する子どもの健康状態をよく知っている親族など(祖父母等)が同伴し、予防接種を受けることも可能です。ただし、その場合は、委任状の記入が必要になりますので、事前に実施医療機関又はイワケン健康づくりセンターにて予診票を受け取り、あらかじめ保護者が記入した予診票を持参して接種してください。
- 予防接種は、お子様の体調が良いときに受けましょう。
当日は、朝から子どもの状態をよく観察し、普段と変わったところのないことを確認しましょう。
体温は接種前に測りますが、自宅でも熱がないのを確認してから受けにいきましょう。
※熱が37.5℃以上ある場合は接種できません。
- 1か月以内にかかった病気によっては、一定の間隔をあけないと接種できない場合があります。
(例:麻しん、おたふくかぜ、水ぼうそうなどは治ってから4週間は接種できません。)

※予防接種の効果や副反応などについて理解した上で、接種に同意したときに限り、接種が行われます。

予防接種を
受けた後に

- 予防接種を受けたあと30分間程度は、急な副反応が起こることがあります。
接種した医療機関で子どもの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- 接種後、生ワクチンでは4週間、不活化ワクチンでは1週間は副反応の出現に注意しましょう。
- 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- 接種当日はいつもどおりの生活をしましょう。ただし、激しい運動は避けてください。

異なる種類のワクチン
接種する場合の間隔



※詳細は、かかりつけ医等医療機関に相談の上、接種を受けてください。

